

上西郷 WESTKIDS

10年の歩み



上西郷 WESTKIDS 10周年記念少年サッカー大会

2002年10月12日(土)

なまずの郷(福間町総合運動公園)

ごあいさつ

監督 藤川 英雄

上西郷ウエストキッズも10周年目を迎えることになりました。これもひとえに上西郷ウエストキッズクラブにかかわってこられた各クラブの関係者の方々や、サッカー協会少年委員会、当クラブOBの方々のおかげだと思っています。そこで、お礼の意を込めて、ささやかではありますが、記念行事を福間町（現福津市）なまずの郷運動公園創立10周年と重ね、開催することになりました。

「出会いに感謝」

10周年を振り返ると、いろいろなことがあり、そしていろいろな人と出会いました。

12年前、私はこの地に根をおろし、普通の父親として過ごすはずでしたが、日本サッカーリーグがプロのJリーグとしてスタートするころ、私の心も動きました。

当時、上西郷地区にはサッカーというスポーツクラブは存在していませんでしたので自らボールを取り出し、5歳の息子の手を取り、「ボールは友達だ」などと言いながら息子が走る姿を天才だと思い、夢を見ていました。

近く子どもたちが「僕にも教えて」と5人、10人、15人と少しずつ増え、そして10年前、保護者の方々の要望で、少年サッカーチームとして活動を始めることとなりました。が、野球、バスケ、サッカーと3競技が存続するのは難しいということで、小学校のグラウンドの使用許可はおりませんでした。

最初からすべて順調にはいきません。小学校のグラウンドの上の空き地を、O氏より提供していただき、最初のクラブ保護者などで、山のグラウンド造りからのスタートとなりました。私もブルドーザーにのって、土・日曜日は朝から汗だくになり、子どもたちは草を抜いては「おいちゃん、大きいのが抜けたよ」と私のところに見せにきてくれました。

真っ黒な顔から白い歯が見えるほど笑っていたあの頃が一番楽しかったのかもしれませんが。手作りのゴール、休憩小屋、3年後には山のグラウンドに照明もつき、そしてついに4年目の冬に小学校のグラウンド使用許可が認められました。

子どもたち・指導者・保護者が協力し、今の上西郷ウエストキッズを築き上げたことを忘れずに、記憶に留めたいと思っています。

あれから10年、卒部していった子どもたちも大学生や社会人になり、まだまだサッカーはやめられない！とがんばっているようです。

こうして私とサッカーをした選手たちが、来年の春、また卒業します。

そして10年間、私の力になってくれたYコーチには感謝の気持ちでいっぱいです。

●上西郷WESTKIDSのあゆみ

◎1993年度

10月 サッカーが好きな子どもたち4~5人が集まる。小学校に相談に行くが、グラウンド使用はダメということで、サッカーの練習ができる場所を探し、O氏にお願いに行き、グラウンドが決定。子どもたちやその保護者、監督が中心になりグラウンドを整備して、以前のサッカー場が完成。夏の草刈りは大変だったが、監督にとってはお気に入りの場所だった。汗と涙のサッカー場。子どもたちもすぐに20名ほどになり、元気な子どもでいっぱいになった。

12月 初めての試合

FC神興と試合をした結果、0-12で負け！「1点取れるようになったらまた試合をしよう！」とFC神興の監督に言われた。その時、ユニフォームもスパイクも身に付けていなかった。



↑最初の練習場 Oグラウンド

◎1994年度

4月 上西郷WESTKIDSとして、福岡県サッカー協会に登録 部員40名

初めての公式戦、FC東郷に引き分け、そのあとは全敗。全日本少年サッカー大会宗像予選、14チーム中最下位！

8月 監督靱帯断絶で3か月間入院中、FC神興と引き分けの末、PK戦で負ける。

しかしよく頑張った！



↑全員集合！後ろのゴールはなんと手作りの木のゴール

初代会長 T・Kさんより

10周年本当におめでとうございます。

ウエストキッズが発足した当初、いろんなことがありました。「まず一勝を！！」この一勝ができず、みんな一丸となり、日々練習を続けましたね。グラウンドの草刈り、ゴールポストも手作り、ライン引き、そして監督の入院。監督不在の試合は今でも覚えています。

1-0で迎えた後半戦、ハーフタイムは全員で正座して後半戦を迎えました。

「初めての一勝を！！」

このまま1-0で終わってほしい…私も選手も心からそう思ったものです。

でも無理だった。

それから数年が経ち、今のウエストキッズがあり、こうして10周年の記念式典を迎えられることを心からお慶び申し上げます。

初代キャプテン T・Kくんより

上西郷ウエストキッズ10周年おめでとうございます。

思いおこせば10年前、藤川監督の声に導かれてサッカーとかかわることが出来ました。

今考えると、当時はとてもサッカーといえるものではありませんでしたが、自分たちは試合に勝つことよりも、藤川監督、Yコーチからサッカーの楽しさを教えてもらいました。

また、サッカーだけでなく、サッカーを通しての友情・信頼等の人間関係は、自分の財産となっています。これからも上西郷ウエストキッズの皆さんが、技術だけでなく、精神面の向上を遂げられることを祈りつつ、10周年のお祝いの言葉といたします。

◎1995年度

8月 九電杯(4年生大会) 準優勝 初めての賞状、トロフィー…喜びでいっぱい！

10月 ロッテリア杯(3年生大会) 第3位 宗像地区から初めて外にでる。

12月 宗像市招待(4年生大会) 準優勝

* M君を中心にサッカーチームらしくなってきた。

2代目キャプテン T・Mくんより

上西郷ウエストキッズ10周年おめでとうございます。

自分がこのチームにいたときは、まだ小さなチームでグラウンドもデコボコで、みんなサッカーは初心者でした。それから10年、今では全国大会に行くような力のあるチームになって、このチームに出会えたこと、藤川監督、Yコーチに学んだこと、すごく光栄に思っています。

大学生であるけれど、今の小学生に負けないくらいサッカーが好きです。サッカーがうまくなりたかったらいろんなことに興味を持つこと、そして素直になることが大切です。

小学生の皆さん、これからもサッカーを楽しんでください。

◎1996年度

- 4月 全日本少年サッカー宗像支部予選 準優勝
- 6月 さわやか杯宗像支部予選 全勝優勝
- 7月 M君、ディズニージュニアカップ日本代表に選ばれアメリカへ。
- 8月 JAカップ宗像 準優勝・九電杯(4年生大会) 優勝
- 9月 ロッテリア杯(3年生大会) 36チーム中第4位
- 10月 新宮チャレンジカップ(4年生大会) 36チーム中第4位
- 2月 宗像フェスティバル 24チーム中第3位
- 3月 宗像杯 16チーム中第3位

3代目会長 K・Mさんより

上西郷ウエストキッズの創立10周年おめでとうございます。

藤川監督、Yコーチの熱心な指導と保護者の皆様のあたたかい応援で短期のうちに県下でも有名なサッカーチームになられたことは、卒業生として大変うれしく思います。

思えば息子たちの時代は一試合でも勝てれば、皆で大喜びし、親も子も一生懸命で、本当に楽しい時を過ごさせていただきました。監督、コーチのおかげで、夢中になって取り組めるもので出会い、導いていただき、いろいろな素晴らしい経験をさせていただいたことを親子ともども深く感謝しております。

きっといつまでも心に残るよき思い出になることだと思います。

今後も上西郷ウエストキッズのますますの飛躍をお祈り申し上げます。

3代目キャプテン Y・Mくんより

ぼくは1996年の上西郷WESTKIDSのキャプテンでした。

ぼくたちの時代は、今の学校のグラウンドではなく、上のグラウンドでゴールは木で作ってありました。みんなの努力のおかげで、きれいになったグラウンドでは、毎日ではなかったけれど、週3回練習ができてとても楽しかったです。ぼくたちの代は6年生のメンバーが5人というチームで少人数でしたが強かったと思います。5年生も4年生も一丸となつてついてきてくれ、まとまったチームでした。ぼくたちは初めて宗像2位となって、地区大会に出場することができました。6-3で自由が丘を倒しての出場でした。その試合は今でも覚えています。3-3に追いつかれた後、みんなが3点も取ってくれたので、とてもうれしかったです。自由が丘の監督さんが試合の後「上西郷のハートに負けた。」といったことを忘れません。ぼくはあの試合が小学校時代の一番の試合だと、今でも心に残っています。

藤川監督といえば、厳しい練習の中で、ボールタッチ、戦術、そしてきれいなプレイより飛び込んででも1点を取らなければならない食欲さを教えていただきました。

このことは今の高校でも役に立っています。そして忘れてはならないのはYコーチの存在

です。土曜日の練習は走ってばかりでした。ダッシュ、ダッシュ、ダッシュ…ばかりのメニューでとてもきつかったことを覚えています。それにYコーチの試合中の指示は「何とかしろー」でした。けれど、その言葉を聞くと、不思議と緊張がなくなり楽になりました。また、ハーフタイムのミーティングもコーチ中心で話をされてあったことを今でも覚えています。

良きチームメイト、熱きスタッフまで揃っていてとても楽しかったです。

最後に一言、ぼくがこの上西郷で教わったことは、「一人では何もできない！自分のためにチームがあるのではなく、チームのために自分がある！」ということです。

藤川監督、Yコーチ、これからもがんばってください。

◎1997年度

3. 4代目会長 K・Mさんより

上西郷WESTKIDS結成10周年おめでとうございます。

KORIA JAPANワールドカップとともに、10周年を迎えることは本当に大きな意義があるかもしれません。

10年前はグラウンドもなければ、ゴールもないといった中で一人一人が知恵と力を出し合い、ウエストキッズ育成に力を注いだことを思い出します。

キャプテンをした子どもの親が会長ということで、2度も会長を引き受けましたが、この取り組みの中で多くの人と知り合い、それぞれが助け合いながら一つの目標達成に努力していったことを見てきました。確かに人と人が持つ関係ですから嫌なことや悔しいこともありましたが、小さな小学校に通う、少ない子どもたちが全国大会出場まで勝ち取ったことは本当に素晴らしいことだと思います。畦町の中にあった新旧の溝を子どもたちの手助けを通して、少しずつ埋めていった気がしてなりません。

これからもサッカーを通して、いろんなことを学べるウエストキッズにしていってください。

4代目キャプテン R・Mくんより

ウエストキッズ10周年おめでとうございます。

ちょうど僕たちのころにグラウンドが小学校にうつりました。結成して4年がたち、その年は主力の選手が出ていて期待できるチームが結成されました。年が経って、今では高校2年生。今でも藤川監督、Yコーチに感謝し、ウエストキッズを懐かしく思い、たまに暇があれば顔を出したいと思っています。

小学生の皆さん、サッカーで夢を持ち、追いかけて、それに向かって努力するように頑張ってください。また自分に負けない強い心を持つプレイヤーになってください。

◎1998年度

監督 藤川 英雄

ありがとう 思い出のサッカー場 1998年1月10日

約4年間〇氏より、無償でお借りしていましたふれあい広場横のサッカー場から

1994年1月10日に小学校のグラウンドに変わりました。

始めたころは、草がぼうぼうでデコボコ。しかし保護者の方々の力で、年々サッカー場らしくなりました。最初のサッカーゴールは竹で作りました。その後S氏に木のサッカーゴールや休憩所を作っていただきました。さらにサイドネットを張り、大きなゴールもできました。そしてM氏やI氏からミニゴールを作ったり、ナイター設備をつけていただきました。本当に保護者の方々の力で毎年変わっていくサッカー場が楽しみでした。

残念なことに1998年に使えなくなりましたが、〇氏のご協力のおかげで、サッカーができたことに感謝しております。最後の練習の時、子どもたちは本当に悲しそうでした。

この山のサッカー場は君たちの心の中に残してください。

そのころの保護者の皆様、本当にありがとうございました。

5代目会長 K・Sさんより

上西郷ウエストキッズ創部10周年おめでとうございます。

チーム結成から10年間、多感な子どもたちを情熱と強い精神力をもって指導していただきました監督、コーチには深く感謝いたします。

そして長年にわたって、厳しい練習に耐えてきた子どもたちは我慢することや助け合うことの大切さ、思いやりの心、強い体力を培ってきたことと思います。

このサッカーを通じて培われた人間性をさらに今後の精進によって、より豊かなものに高められ将来社会のために貢献できる人、飛躍できる人に育ててほしいと期待しております。これからの上西郷ウエストキッズのますますのご発展と本大会のご成功を強く記念してお祝いの言葉といたします。

5代目キャプテン H・Sくん

創部10周年おめでとうございます。

ぼくは6年間、上西郷ウエストキッズでいろいろな体験をさせていただきました。

監督やコーチのもとで、サッカーの基本、技術、体力を養えたこと、サッカーを通じてたくさんの人たちと出会い、そして試合に勝った時の喜び、負けた時の悔しさ、この一つ一つがぼくの大切な思い出です。

これからも今までの経験を活かして努力していきたいと思います。

◎1999年度

6代目キャプテン Y・Sくん

僕は幼稚園の頃にこのサッカー部に入りました。初めのころは、小学校の上のグラウンドで練習をしていました。このころは皆でグラウンドの草刈りをしていました。そして、ゴールは竹や木でできていて、台風が来ると倒れたり壊れたりして大変でした。土曜日になるとコーチの地獄のサーキットが待っていました。そんないろいろなことがありながら、上西郷は強くなってきたと思います。そして僕が4年生の時、はじめて県大会に出場してぼくがキャプテンだった時、初の筑前優勝、その翌年に全国に出場！

ぼくが上西郷で過ごしてきた7年間はとても楽しかったです。そして良い経験をさせてもらいました。これからも上西郷ウエストキッズ頑張ってください。

それからみんな！ENJOY FOOTBALL！

◎2000年度

7代目会長 M・Hさん

このたび上西郷ウエストキッズが10周年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

私も息子たちのおかげで、創部当初から2年前までいろいろな行事、応援などにかかわらせていただき、子どもの成長を頼もしく、見続けられたことを大変感謝しております。

平成12年度は、会長という大役を仰せつかり、その年に全国大会出場という誰もが夢見る憧れの舞台を子どもたちとともに体験しましたが、その裏には数多くの準備にかかる事務作業の大変さも経験しました。気持ちだけは精一杯頑張っているつもりが、振り返れば反省することばかり、いろいろなことを経験し考えさせられた貴重な年でした。

福岡県代表として小さな小学校のチームが出場できたこと、どこのチームよりも意義あるすごいことだと思います。

そして全国大会では、福岡県代表として恥じない立派な戦いでした。これもひとえに藤川監督、Yコーチ、Sコーチの高度な教えと熱心なご指導のたまものだと深く敬意を表しております。そして関係者、地域の皆様方のご支援、ご寄付に支えられて、後押ししていただいたこと、深く感謝しております。この時の子どもたちは全国大会に行ったことを決しておごることなく、中学でもより一層練習に励んでおります。

将来進む道はいろいろでしょうが、大きな自信になったことは間違いありません。小学校に記念碑を建てていただきましたが、これは出場した子供たちの思い出だけでなく、後に続く子どもたちの大きな目標になると思います。

上西郷小学校の子どもたちをたくましくかつ歴史を作ってくれた「上西郷ウエストキッズ」。これかも監督、コーチの熱きパワーで存続してください。心より応援いたします。

7代目キャプテン T・Hくん

上西郷ウエストキッズ10周年おめでとうございます。

自分はこのサッカー部に入って大きく成長したと思います。やはり監督、コーチ、OBの力がなければ、全国というところまで行けなかったと思います。それからチームメイトがしっかり頑張ってくれたという結果だったと思います。日々の練習では、監督の熱き指導、コーチの選手を思う気持ち、保護者の支えが自分たちにとって頑張れた秘訣だと思います。この歴史ある上西郷ウエストキッズ、自分にとっては人生最高のスタートラインだと思っています。今後ともこの上西郷ウエストキッズの活躍を期待しております。

藤川 英雄

全日本少年サッカー大会 全国大会出場

2000年の夏、東京よみうりランドに上西郷ウエストキッズが出場することなど考えもしませんでした。その当時は福岡県大会を目標に週3回の練習を一生懸命行い、先輩たちが続けている福岡県大会に出場することだけ、そしてベスト8が目標でした、その当時、上西郷小学校の全校生徒210名の中でサッカー部38名（1年から6年まで）、その当時の選手を思い浮かべてみても特に凄いという選手はいませんでした。当時8名の6年生は、特別でもないが全員が上を目指す意識があり、子どもたちで考え、工夫し、実行するという仲間意識が高いチームでした。これもまた、先輩たちが残していったアイデア戦術などをうまく取り入れた結果だったと思います。今でも思い出しますが、筑前の名称、O監督率いる新宮FCジュニアとの決勝戦、延長PK戦のあの一戦は私にとって一生忘れられない思い出です。

…全国大会に出場して…

Tくん

全国大会では試合だけ参加するものだと思っていましたが、一緒に共同生活をして、サッカー以外のいろいろなことを学び、とても勉強になりました。全国大会出場は自分にとって一番大事な思い出、そして自信です。

Sくん

僕が入ったのは3年生の途中でした。初めのうちは皆についていくのが大変だったけれど4年生くらいから自分もついていけるようになったと思います。それから練習前など早めに来て、他の人たちと自主練などもしました。6年生で初めて全国大会に出られた時は、とてもうれしかったです。ウエストキッズで学んだことは、生かしていきたいと思います。

K・HAくん

全国大会出場はウエストキッズでの大きな思い出の一つです。県大会等、毎試合厳しい戦

いを勝ち抜けたのは、監督、コーチをはじめ、皆が団結して1つの目標に向かって進んでいった結果が出たのだと思います。でも残念ながら2分1敗という結果で終わりました。全国のレベルは高いということを知られました。でも皆で精一杯戦えたので、今でも懐かしく思います。また、地域のいろいろな人や町からの支援も大きな支えでした。サッカーとは違う面でもいろいろな勉強になった全国大会でした。だけど、今の上西郷ウエストキッズの皆にはもう一度、あのピッチに立ってほしいと思います。夢はあきらめない限り、ゼロにはならないものです。今、僕たちは中学生なので、自分たちも上の目標に向かって突き進んでいきたいと思っています。

K・HIくん

僕たちは2年前の7月31日、あの夢の全国大会の会場にいました。大会では苦しい試合が続きましたが、自分たちの持っている力を出し切ったと思います。結果は2分1敗でしたが、自分たちの持っている力を出し切ったと思います。ぼくはこの大会を通して、目標を持って頑張れば、夢はかならず実現できるということがわかりました。

Y・Iくん

僕は本当に全国大会に行けるとは思っていませんでした。でもその時の僕たちの心が丸く一つにまとまっていたと思います。その陰にはたくさんの人の協力がありました。そのおかげで僕たちは、のびのびとプレイができ、全国大会では悔いが全然残らないくらい楽しかったです。今ではその思い出が中学でも十分役立っています。監督、コーチ、そして皆さん、どうもありがとうございました。

Y・Kくん

僕は全国大会の宿舎で、他チームとの交流をとおして、全国のサッカーのレベル、他にもとても楽しいことを教わりました。こんなにいっぱい気楽に楽しめたのも、監督やコーチ、保護者の方々や後援会の皆さんが夜遅くまでスケジュールを作ってくれたおかげだと思います。その支えがあったからこそ勝ちはありませんでしたが、僕にとっては素晴らしい結果で終えた全国大会でした。一生忘れられない思い出になりました。

K・Yくん

僕たちが全国大会に行けたのは、監督とコーチ、そしてチームワークのおかげだと思います。全国大会では一勝もできなくて悔しかったけれど、とても楽しかったです。

T・Mくん

僕は全国大会でみんなの気持ちが一つになっていたと思います。勝つことはできなかったけれど、気持ちでは負けていなかったと思います。ここまでいけたのも、監督やコーチ、

保護者の方々他たくさんの人たちの支えがあったからです。よい思い出になりました。

K・Sくん

全国大会では、サッカーだけでなく、団体行動の大切さを学びました。

N・Sくん

全国大会で一勝したかった。

K・K

とても良い経験になりました。

T・Kくん

全国大会で得点を決めたかったです。

H・Iくん

全国大会で東京のあんな良い芝生で、プレイできたのは一生の思い出です。

S・Hくん

全国大会に出場した時は、僕はメンバーに入っていて東京まで行きました。全国大会では一勝もできませんでしたが、僕はチームの皆と協力して全国大会に行けたことにとても感動しています。その時、僕は、サッカーはサッカーだけうまくなるのではなく、皆と協力することなども知りました。

T・Sくん

全国大会に行って、開会式からすごかったです。48チームが入場行進をしてチューリップハットをかぶり写真を撮りました。グラウンドは芝できれいでした。人口芝で試合をしました。こけたら痛かったです。

Y・Hくん

全国大会に行けたことが一番うれしかった。全国大会に出ていた強いチームを見て勉強になった。

K・Kくん

全国大会はレベルが高く勉強になった。

K・Sくん

僕は全国大会に応援に行きました。それで全国レベルのプレイを見てよかったしそのプレイをまねしようと思います。

T・Tくん

全国大会でたくさんのことを学ぶことができました。

◎2001年度

6・8代目会長 M・Sさん

10周年おめでとうございます。上西郷ウエストキッズに長男が入部して以来、9年間お世話になりました。振り返って思うことは、子どもたちが上下の隔たりもなく、和気あいあいと学校生活を送れたこと、これもクラブ活動のおかげではないかと思います。親としては子どもを通じて、いろいろな人たちと知り合えたことをとても感謝しています。今、私は「趣味はなんですか？」と聞かれた時、「子どものサッカー観戦」と言っています。こんな趣味ができるとは思ってみなかったことです。本当にありがとうございました。今後のますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

8代目キャプテン K・Sくん

上西郷ウエストキッズ10周年おめでとうございます。

僕は上西郷ウエストキッズで7年間もサッカーができたことをとてもうれしく思います。小さいころから試合に連れて行ってもらい、監督やコーチ、保護者の人たちにはお世話になりました。

上西郷ウエストキッズは30人位しか部員が集まらないけれど、どこのチームよりもサッカーが楽しくできるチームだと僕は思います。これからもがんばってください。

◎2002年度

◆6年生…上西郷ウエストキッズに入って感動したこと

S・Eくん

唐津カップで3連覇できたこと。他チームに友達がたくさんできたことがうれしかった。

S・Hくん

試合で勝った時は皆と嬉しがって、負けた時は皆と悔しがることです。

Y・Hくん

僕が4年の時、6年だった2年上の先輩といろいろ試合をしたり練習をしたりして

サッカーの楽しさやルールなどを教えてもらいサッカーを楽しくできたこと。

T・Sくん

4年の時に県大会優勝し、全国大会に出られた時が一番うれしかったし感動しました。

K・Iくん

2000年の夏、県大会決勝の時、ベンチにも入っていなかったけれど、応援しながらこの目で県大会優勝するところを見たこと。チームの1人として誇りを持てた。

K・Tくん

5年の時、ふよう杯でコーチにGKをやれ！と言われて、GKで試合に出て初めてセーブした時が感動しました。

M・Iくん

3年の時、先発で初めて試合に出た時。試合が終わった後、仲間と一緒にプレイすることはこんなことかと実感した。このころからサッカーに熱くなった。

S・Nくん

6年になって、またサッカーをやれるようになったことがうれしいです。あまり走れないのでキーパーとして入っても良いかと聞くと、僕が思っている以上に、皆がうれしい言葉を返してくれたので、とても感動しました。

◆5年生…サッカーをしてよかったこと

K・Iくん

他の学校の人と友達になったこと。

T・Nくん

練習が楽しいことと試合が楽しいことです。

A・Mくん

他のチームの人と友達になれたり、ちゃんと挨拶ができるようになったりしたことです。友達も増えてとてもうれしかったです。ワールドカップに出たチームで好きな選手もできました。サッカーができてうれしかったです。

T・Mくん

友達がたくさんできたこと。走りが早くなったこと。サッカー以外のスポーツにも興味が

持てたこと。

◎ 4年生…試合に出て一番うれしい時

T・KUくん

点が決まる時とアシストができる時が一番うれしい。特にスルーパスでアシストになるのが良いです。

T・KAくん

自分が点数を入れた時や、点にからむパスをした時です。あと、練習で習ったことを試合で出せた時がうれしいです。

K・Tくん

サッカーの試合に出られて、落ちついたプレイが出来た時がうれしいです。また試合に出て落ち着いたプレイをしたいです。

N・Sくん

試合にスタメンで出てシュートを決めた時。

T・Mくん

初めてシュートが打てた時がうれしかったです。今度の試合でもっとシュートを入れて得点王になりたいです。

T・Kくん

トップになってヘディングで決めたことがうれしかった。

R・Sくん

6年の試合では、出られないけれど、5年の試合でうまくなって6年の試合にも出たい。

◆ 3年生…こんな選手になりたい

K・Tくん

テレビのワールドカップを見て、ブラジルのロナウド選手のようにになりたいなと思いました。なぜかというと僕と一緒にロナウド選手もFWだからです。

T・Hくん

僕は飛行機に乗ってドイツに行ってみたいです。カーンのような強いゴールキーパーになりたいです。「絶対ボールを取るぞ!!」頑張ります。

T・Mくん

常に先を読んでもっと早く動ける選手になりたい。ドリブルも早くパスも冷静に出せるような選手になりたい。

S・Nくん

僕は大きくなったら中田英寿選手みたいになりたいです。中田英寿は日本×チュニジア戦で1点決めました。ポジションはMFです。ぼくはDFだけど、中田英寿みたいとうまい選手になりたいです。

S・Hくん

テクニックのある走りの早い選手になりたいです。

S・Yくん

カーンみたいに強くてキック力のあるゴールキーパーになりたいです。

K・Iさん

FWをしているので、いろんな人からパスをもらって、たくさんシュートを打ちたいです。皆から声をかけられるような選手になりたいと思っています。

◆1年生…サッカーで楽しいこと

K・YAくん

サッカーでゲームをすること。ピーケーをすること。ゴールにシュートをすること。パスをすること。

K・YOくん

サッカーの練習でチームにわかれて練習試合をするのが好きです。

10代目会長 T・Eさん

上西郷ウエストキッズ10周年を皆様とともに迎えられたことを喜ばしく思います。

町内でもあまり知られていなかった「上西郷」という地名を、他の地域の方々に広めたのは、上西郷ウエストキッズというサッカークラブの存在が大きいといっても過言ではないでしょう。この小さな小学校の小さなサッカークラブをここまで大きくされた藤川監督、並びにY、S両コーチに感謝するとともに、上西郷ウエストキッズにご支援くださった他チームの皆様そして創部当初からともに歩んでこられた保護者の皆様に御礼申し上げます。「上西郷ウエストキッズの歩み」を見ていただいてもわかりますように、監督・コーチのこれまでの努力は目を見張るものがあり、その情熱は見ていてうらやましくもあります。

このような素晴らしい指導者に巡り合ったこと、さらに縁あって10周年という節目の年に会長としてお祝いできることを光栄に思います。

また、ウエストキッズの子どもたちは叱咤激励が多々ある中で、技術面だけでなく最も重要な精神面の成長を遂げています。これからの人生においてウエストキッズで学んだ忍耐力・協調性・自主性を如何なく発揮してくれることでしょう。

今回上西郷ウエストキッズのホームグラウンドともいえる「なまずの郷」と共催で10周年を迎えられたことは喜ばしい限りです。

「なまずの郷」関係者の皆様にも大変お世話になり、本当にありがとうございました。

最後に、この10周年大会において、皆様にご支援、ご協力賜りましたことを改めて御礼申し上げ、簡単ですが挨拶とさせていただきます。

「何もかもが手作りのこの冊子。
6年生のママたちが頑張って作りました。
皆様の満足のいくものにはほど遠いかもかもしれませんが、
最後まで読んでいただければ幸いです。」
2002年度 6年生のママ達 編集後記より

FC上西郷 West Kids は、毎年、指導者と6年生の保護者を中心として子どもたちをバックアップしています。



*藤川代表が大切に保管していた「上西郷 WESTKIDS 10年の歩み」より一部掲載させていただきました。